

RISC-V WGが新設されました

応用技術調査委員会にRISC-V WGが新設されました。私はこのたび、RISC-V WGの主査を拝命しました小檜山(こひやま)と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

当WGは新設以来、現在までに8月21日と9月18日の2回の月例WGを開催しました。記念すべき第1回目のWGでは、日本におけるRISC-Vの第一人者であるSHコンサルティングの河崎俊平さんに、1時間半にわたりご講演いただきました。2回のWGとも、20名を超える多くの方々が参加して、これからの活動について熱い議論を交わしました。WGとして元気よくスタートを切れたと思っています。

Bulletin JASA Vol.069で特集されたので、皆さんよくご存知のことと思いますが、2015年に非営利団体RISC-V

Foundationが設立されてから、RISC-Vは過去の知見を活かし、十分に検討されたロイヤリティフリーのISA(命令セットアーキテクチャー)を核に、開発環境や拡張命令セット、セキュアな実行環境などの整備が加速しています。

このような背景の下での今後のWGの活動方針ですが、RISC-Vのオープン性に沿った形で、JASAならではの切り口でアプローチしたいと考えています。具体的にはJASAの会員を中心に、さらに会員のみならず、RISC-Vに興味を持つ方々が活用できるリファレンスプラットフォームを定め、ハードウェア、ソフトウェアの両面からRISC-Vコミュニティに貢献できるような活動を、メンバーで議論しながら進めてまいります。

WGは月1回開催し、毎回メンバーの

主査
小檜山 智久



皆さんの人脈でご紹介いただいた有識者の方々による講演をベースに、それを発展させた議論の場の提供をしていきたいと考えています。皆さんの積極的な参画をお待ちしています。なお、今年度のWGの開催予定日は現時点で次の通りです。

10月23日(水)、11月18日(月)、12月26日(木)、2020年1月22日(水)、2月26日(水)、3月26日(木)。

北海道支部主催でET × IoTセミナー、出席者120人で大盛況

北海道支部は9月26日(木)に、「DX時代に向けたET × IoT最前線」と題した技術セミナーを北海道経産局と北海道、札幌市の後援、北海道IT推進協会の協賛を得て札幌市で開催した。

セミナーの冒頭で武部桂史専務理事は、組込みシステムセキュリティ委員会とRISC-Vワーキンググループの新設、11月20日～22日開催の「Embedded Technology 2019/IoT Technology 2019」のトピックスなどを紹介し、当協会のタイムリーで活発な活動を印象づけた。続く、ETラボ 横田英史代表の講

演「IoTの未来予想図」、(株)デンソー 梶岡繁コネクテッドシステム開発室長の招待講演「これからのモビリティ社会を支えるソフトウェア技術と課題」に、会場を埋めた120人以上の受講者はノートをとるなど熱心に聞き入った。

横田氏は、IoTに不可欠な5つの技術の現在と将来を、先行事例を踏まえつつ紹介した。梶岡氏が取り上げたのはCaaS (Car as a Service)/MaaS (Mobility as a Service)。CaaSとMaaSにおける組込みソフト技術とクラウドソフト技術の融合について、その課



会場風景

題とデンソーの取り組みを紹介した。講演では組込み技術者とIT技術者のソフト開発に対する姿勢の埋めがたいギャップにも触れ、会場を大いにわかせた。

セミナーに続き、北海道関連機関と企業による情報交流会を実施した。DX時代の組込みシステムとソフトウェアの重要性に焦点を絞った今回のセミナーは、当協会の北海道における認知度と入会意欲の向上に大きく寄与したと確信する。



北海道経産局
地域経済部長 岡出 直人 様



札幌市 経済観光局
IT・クリエイティブ産業担当課長
瓦本一大 様



一般社団法人 北海道IT推進協会
会長 入澤 新也 様



デンソー 梶岡繁氏